



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ミツウロコグループホールディングス
コード番号 8131 URL <http://www.mitsuuroko.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田島 晃平

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長

(氏名) 児島 和洋

TEL 03-3258-6310

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	133,582	16.6	131	△92.6	249	△85.8	△90	—
23年3月期第3四半期	114,531	19.5	1,776	△8.8	1,758	△7.2	282	△68.5

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △388百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 37百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第3四半期	△1.38	—
23年3月期第3四半期	4.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
24年3月期第3四半期	117,755	59,705	50.6	913.68
23年3月期	110,060	61,074	55.4	934.63

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 59,608百万円 23年3月期 60,976百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期	—	—	—	15.00	15.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	170,000	2.9	3,300	△15.9	3,300	△18.7	1,700	158.9	25.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	68,137,308 株	23年3月期	68,137,308 株
24年3月期3Q	2,896,672 株	23年3月期	2,895,564 株
24年3月期3Q	65,241,321 株	23年3月期3Q	67,157,785 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、3ページ 1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済情勢は、電力供給の制約や原子力発電所事故の影響で景況感が悪化していることに加え、欧州危機が金融資本市場に影響を及ぼしていることで海外だけでなく国内の景気も下押しされる懸念が残るなど、雇用情勢や個人消費の低迷が続く中で依然として厳しい状況で推移しました。

当社グループ主力のエネルギー事業の周辺環境では、原油とともにL Pガス仕入価格の指標となるC P (Contract Price = 輸入通告価格) が前年同期間と比較して高水準で推移したこと、また、消費者の「節電」「省エネ」意識の高まりなどにより主力商品であるL Pガスの販売量は減少傾向にあり、国内需要が前年を下回る石油製品と併せ、当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は厳しい状況で推移しました。

こうした状況下、新たな営業拠点を設けた九州地区を中心とした石油製品の販売量増加や、被災地復興需要による住宅機器類の販売増、並びに都市型小売店舗「エコイス」の積極展開等による生活周辺サービス(ミネラルウォーター、太陽光発電システム、リフォーム等)の販売増等、売上高増加による業績拡大要因があったものの、重点的に取り組んだミネラルウォーターの宣伝広告等販売促進策や、これに伴うウォーターサーバーに係る設備投資、「エコイス」新規出店費用等の積極的な拡大策への投資もあり、第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比16.6%増の1,335億82百万円と伸長いたしました。営業利益は前年同期比92.6%減の1億31百万円、経常利益は前年同期比85.8%減の2億49百万円となり、四半期純損益は前年同期比3億72百万円減少し、90百万円の四半期純損失となりました(前年同四半期は2億82百万円の四半期純利益)。

各セグメントの状況は次のとおりです。

(エネルギー)

石油製品、住宅機器類及び太陽光発電システム等新エネルギー関連機器の販売増加により、売上高は前年同期比15.9%増の1,267億92百万円となりましたが、L Pガスの販売量の減少と販売管理費の増加の影響により、営業利益は前年同期比59.9%減の9億38百万円となりました。

(不動産賃貸)

売上高は前年同期比0.4%増の7億95百万円となりましたが、営業費用の増加により営業利益は前年同期比2.3%減の3億37百万円となりました。

(アミューズメント)

震災による横浜駅西口のアミューズメント施設「HAMABOWL EAS(ハマボールイアス)」内のボウリング場閉鎖の影響等により、売上高は前年同期比18.4%減の10億91百万円、営業費用の減少により営業損失は前年同期比92百万円改善し、2億16百万円(前年同四半期は営業損失3億8百万円)となりました。

(電力)

特定規模電気事業者としての電力の販売増加により、売上高は前年同期比173.9%増の30億22百万円、営業損益は電力の販売増加に伴う収益増と、新たに連結の範囲に含めたバイオマス発電事業会社(株)岩国ウッドパワー由来の調達電源のコスト低減効果等があるものの、風力発電所の修繕費用増加により前年同期比20.3%減の14百万円となりました。

(その他)

ミネラルウォーターの販売量増加の影響により、売上高は前年同期比1.3%増の18億80百万円、積極的な販売促進策実施に伴う営業費用増加により、営業損失は前年同期比2億53百万円増加し2億67百万円(前年同四半期は営業損失13百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結累計期間末の総資産は、現金及び預金の増加14億26百万円、受取手形及び売掛金の増加53億97百万円、投資有価証券の減少3億18百万円等により、前連結会計年度末と比較して76億94百万円増加の1,177億55百万円となりました。

(負債)

負債は、支払手形及び買掛金の増加72億70百万円、未払法人税等の減少4億52百万円、社債償還資金としての短期借入金の増加53億16百万円、長期借入金の増加4億58百万円等により、前連結会計年度末と比較して90億63百万円増加の580億50百万円となりました。

(純資産)

純資産は、配当金の支払い9億80百万円及び四半期純損失90百万円等による利益剰余金の減少10億70百万円等により、前連結会計年度末と比較して13億69百万円減少の597億5百万円となりました。

以上により、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して4.8ポイント減少して50.6%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、原油価格及びLPガスの仕入価格の動向並びに市場の動向によっては厳しい状況も想定されますが、平成23年5月19日の決算発表時に公表した数値を修正しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,473	32,899
受取手形及び売掛金	13,985	19,383
商品及び製品	3,189	3,408
原材料及び貯蔵品	199	238
繰延税金資産	656	702
その他	2,015	3,215
貸倒引当金	△134	△201
流動資産合計	51,385	59,646
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,188	12,878
機械装置及び運搬具(純額)	8,851	8,428
土地	12,636	12,964
建設仮勘定	17	66
その他(純額)	860	843
有形固定資産合計	35,554	35,182
無形固定資産		
のれん	2,118	1,845
その他	804	1,338
無形固定資産合計	2,923	3,184
投資その他の資産		
投資有価証券	10,380	10,062
繰延税金資産	724	828
その他	9,296	9,052
貸倒引当金	△285	△222
投資その他の資産合計	20,116	19,721
固定資産合計	58,595	58,088
繰延資産	80	21
資産合計	110,060	117,755

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,612	18,883
1年内償還予定の社債	3,000	—
短期借入金	6,327	11,643
未払法人税等	560	107
引当金	1,045	486
その他	2,419	2,662
流動負債合計	24,965	33,783
固定負債		
長期借入金	14,421	14,879
繰延税金負債	2,139	1,998
退職給付引当金	1,248	1,245
その他の引当金	476	413
資産除去債務	698	695
その他	5,037	5,032
固定負債合計	24,021	24,266
負債合計	48,986	58,050
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,077	7,077
資本剰余金	5,843	5,843
利益剰余金	48,574	47,504
自己株式	△1,603	△1,603
株主資本合計	59,893	58,822
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,397	1,159
繰延ヘッジ損益	△314	△373
その他の包括利益累計額合計	1,083	786
少数株主持分	98	96
純資産合計	61,074	59,705
負債純資産合計	110,060	117,755

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	114,531	133,582
売上原価	95,492	114,898
売上総利益	19,039	18,683
販売費及び一般管理費	17,262	18,552
営業利益	1,776	131
営業外収益		
受取利息	77	55
受取配当金	147	159
その他	392	448
営業外収益合計	616	663
営業外費用		
支払利息	412	398
その他	222	146
営業外費用合計	634	545
経常利益	1,758	249
特別利益		
固定資産売却益	30	83
事業譲渡益	160	—
確定拠出年金移行時差異	738	—
その他	4	6
特別利益合計	934	89
特別損失		
固定資産除却損	88	92
固定資産売却損	29	0
投資有価証券売却損	—	14
投資有価証券評価損	0	146
退職給付費用	351	—
役員退職慰労金	229	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	601	—
その他	14	0
特別損失合計	1,314	254
税金等調整前四半期純利益	1,378	83
法人税、住民税及び事業税	515	312
法人税等調整額	585	△137
法人税等合計	1,101	175
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	277	△91
少数株主損失(△)	△5	△1
四半期純利益又は四半期純損失(△)	282	△90

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	277	△91
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△185	△234
繰延ヘッジ損益	△60	△59
持分法適用会社に対する持分相当額	6	△3
その他の包括利益合計	△239	△296
四半期包括利益	37	△388
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	43	△387
少数株主に係る四半期包括利益	△5	△1

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	エネルギ ー	不動産 賃貸	アミュー ズメント	電力	計				
売上高									
外部顧客への売上高	109,440	791	1,338	1,103	112,674	1,857	114,531	—	114,531
セグメント間の内部 売上高又は振替高	51	11	—	24	87	17	104	△104	—
計	109,492	803	1,338	1,127	112,762	1,874	114,636	△104	114,531
セグメント利益又は 損失(△)	2,338	345	△308	17	2,392	△13	2,379	△602	1,776

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、煉炭・豆炭等の販売、リース業、ミネラルウォーターの製造販売、保険代理店業及び他サービスの販売を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△602百万円には、セグメント間取引消去13百万円、各報告には配分していない全社費用△621百万円及びその他調整額5百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	エネルギ ー	不動産 賃貸	アミュー ズメント	電力	計				
売上高									
外部顧客への売上高	126,792	795	1,091	3,022	131,701	1,880	133,582	—	133,582
セグメント間の内部 売上高又は振替高	52	17	—	69	139	32	171	△171	—
計	126,844	812	1,091	3,092	131,840	1,913	133,753	△171	133,582
セグメント利益又は 損失(△)	938	337	△216	14	1,073	△267	806	△675	131

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、煉炭・豆炭等の販売、リース業、ミネラルウォーターの製造販売、保険代理店業及び他サービスの販売を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△675百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告には配分していない全社費用△674百万円及びその他調整額△0百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。